
**東北の人づくり、街づくり、産業づくりを
共に支援する有志を募る**

東北復興と日本の未来の為に私たちがすべきこと

2012/07/03
東北未来創造イニシアティブ

イニシアティブ設立の精神

あの悲惨な出来事から15カ月が過ぎました。

日本中から、被災地に多くの暖かい手が差し伸べられ、復旧が進む中、私たち一人一人が絆の重要性を再認識したプロセスでもありました。

しかし、被災地における本当の挑戦は、残念ながらこれからです。

それは、復旧ではなく、復興、さらには未来にむけた創造への挑戦です。

人々の暮らしを支える事業を創り、人々が誇りをもって暮らせる街を創る、その行く末を希望をもって展望できる産業を創る。

それも、東北の人々が、自分たちの手で主役となって創りだす。

創造と自立への挑戦が、被災地の大きなテーマであると、私たちは確信しています。

この度、私たち有志は、復興、自立、さらには未来創造へと挑戦する被災地を支援し、

東北のみならず日本の再生に一石を投じるべく、手を取り合い立ち上がります。

代表発起人の二人が長を務める東北大学地域イノベーションセンターと東北ニュービジネス協議会を運営母体として、

仙台に本拠を置きながら、岩手県(盛岡、釜石)、宮城県(気仙沼、石巻)、福島県(福島)にサテライト拠点を設け、

経営者団体、大学、行政、市民組織と、垣根を越えた連携協働を図り、

5年間にわたって、情熱と志、構想力、行動力を持つリーダー人材(事業家、社会起業家、地域プロデューサー)を育て、

その行動・構想を支援します。

あらたな創造的事業が雇用を生み出し、地域を再興し、

日本全体のロールモデルたらん産業の創出へと貢献できるよう力を合わせます。

多くの組織が協働しますが、その要となるのは民間の個人有志、とりわけ企業人有志です。

私たちには、事業創造と組織運営についての経験とスキル、日本全国さらには世界とつながる人的ネットワーク、

そして既存の慣習にとらわれない柔軟性と先取の精神があります。

政治主導に頼ることなく、民間人、そして企業人が先頭に立ち、東北の復興に貢献し、自分たちの社会の未来を拓く。

人づくり・街づくり・産業づくりを通じて、日本を再生する。これが東北未来創造イニシアティブです。

平成24年7月3日

発起人一同

イニシアティブ体制 発起人

◆代表発起人

大滝 精一
大山健太郎

東北大学大学院経済学研究科長、東北大学経済学部長、教授
アイリスオーヤマ株式会社代表取締役社長、
社団法人東北ニュービジネス協議会会長

◆中核発起人

浅倉 俊一
池田 弘

株式会社ダイユーエイト 代表取締役社長
学校法人新潟総合学園総長、
公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会会長

石川 治江
北城恪太郎

NPO法人ケアセンターやわらぎ 代表理事
日本アイ・ビー・エム株式会社 相談役

小宮山 宏
高橋 真裕

株式会社三菱総合研究所 理事長、東京大学総長顧問
株式会社岩手銀行 代表取締役頭取

米谷 春夫
増田 寛也

株式会社マイヤ 代表取締役社長

松田 昌士

株式会社野村総合研究所 顧問、前岩手県知事
東日本旅客鉄道株式会社 顧問

今後、発起人有志を公募・拡大

東北未来創造イニシアティブとは

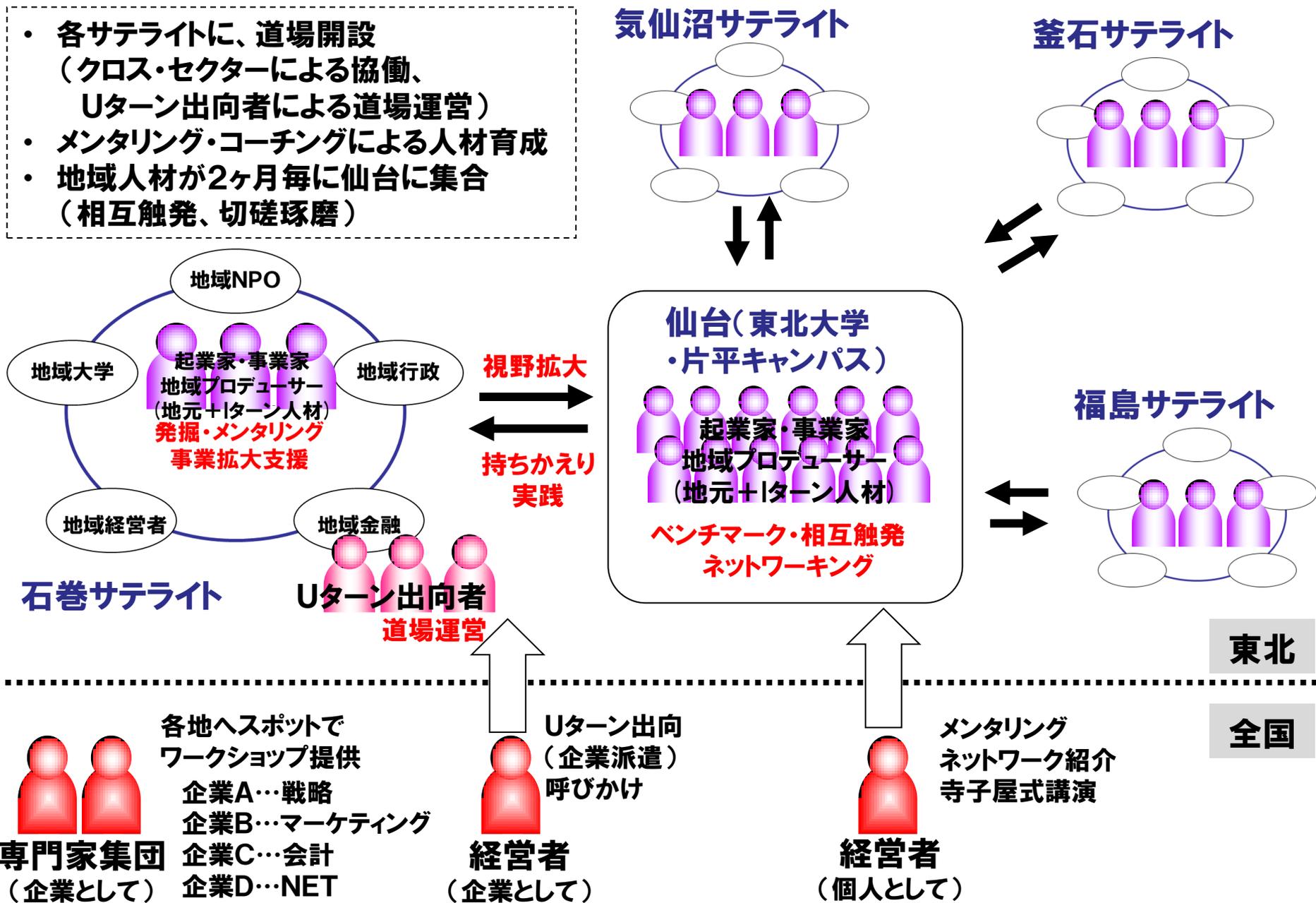
被災地の復興と未来創造の鍵を握る『**人づくり**』を
『地域のクロスセクター連携』と、『全国の民間有志の協働』により実現し、
日本全体のロールモデルたる**街づくり・産業づくり**に寄与せんとする
5年間のイニシアティブ

- 仙台にメイン・オフィス、岩手(盛岡/釜石)、宮城(気仙沼、石巻)、福島(福島(仮))にサテライト・オフィス、東京にリエゾン・オフィスを置く
- サテライトにおいては、経営者団体、行政、大学、市民団体などセクターの垣根を越えたクロスセクター連携を実現
- 全国から、民間個人、企業、団体の有志が協力
- 1) 人づくりのために、**実践行動型道場**を開設・運営
- 2) 街づくり・産業づくりに向け、有志の**首長に支援チーム**を派遣
同時に、経営者とのラウンドテーブルを定期開催
- 3) 定期情報交換を通じての、**生きた政策提言**による復興加速



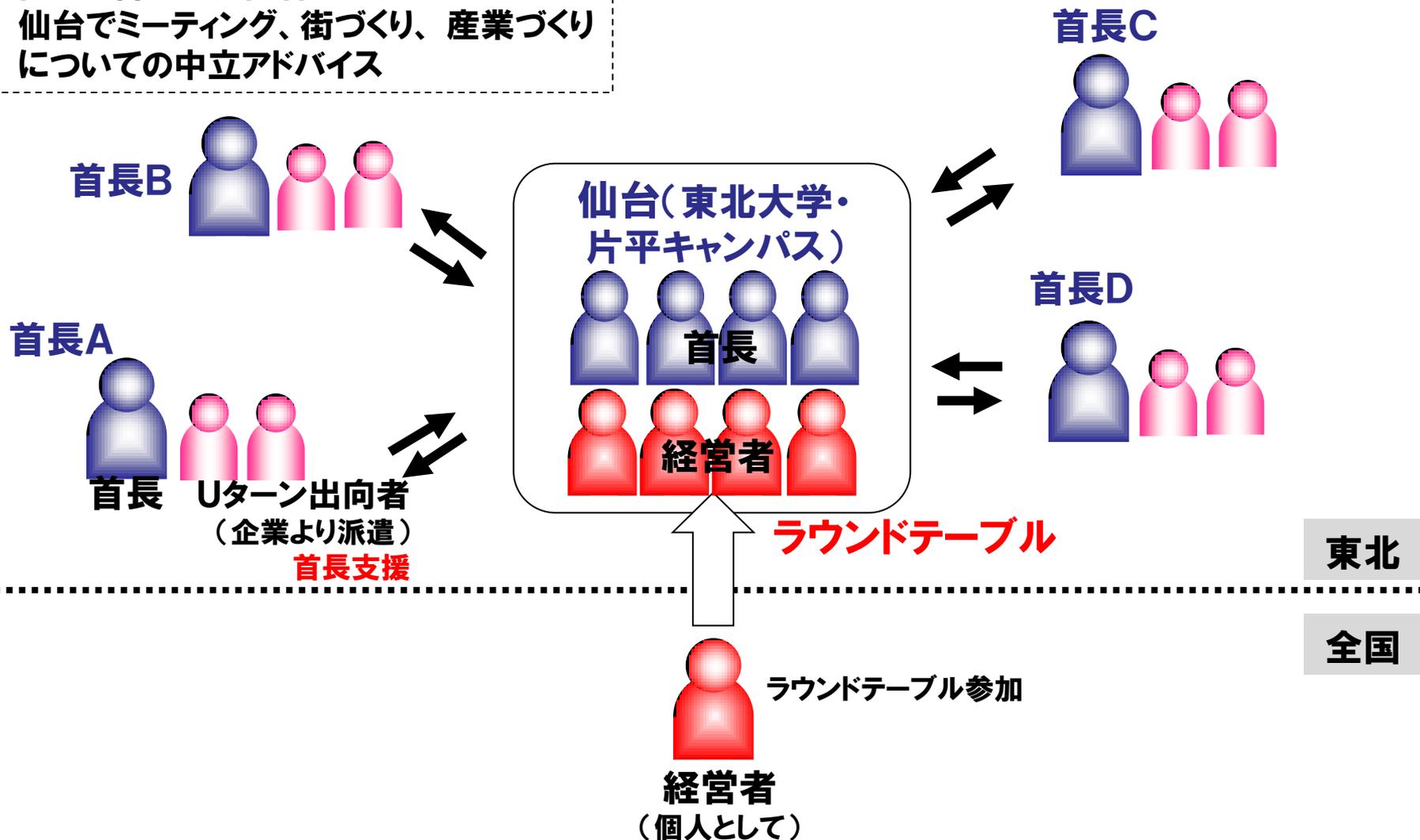
1) 『実践行動型 人材育成道場』(案)

- 各サテライトに、道場開設
(クロス・セクターによる協働、
Uターン出向者による道場運営)
- メンタリング・コーチングによる人材育成
- 地域人材が2ヶ月毎に仙台に集合
(相互触発、切磋琢磨)

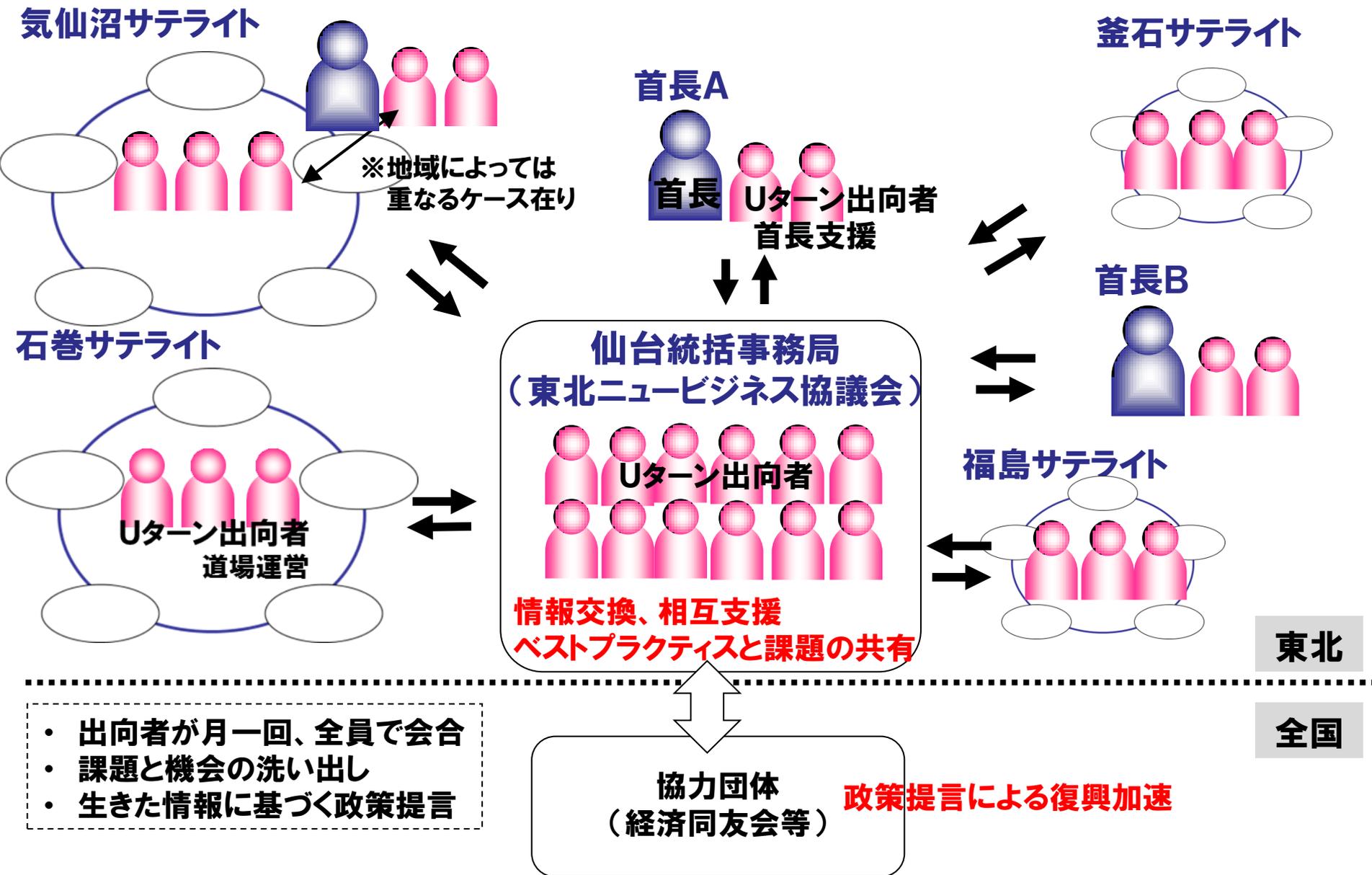


2) 街づくり、産業づくりに向けた、首長支援とラウンドテーブル(案)

- 有志の首長に対して、参謀チームを派遣 (Uターン出向者)
- 街づくり、産業づくりに関する支援
- 有志の首長と経営者が、半年ごとに仙台でミーティング、街づくり、産業づくりについての中立アドバイス



3) 復興加速に向けた 政策提言(案)



KEY WORDS

復旧 ⇒ 復興	視野拡大	相互触発 切磋琢磨
支援 ⇒ 自立	有志・志願・義勇	主役:東北 伴走:全国
全ては『人』	行動とメンタリングの 実践型育成	民間版 復興庁 人材育成局
東北から拓く 日本のロールモデル	持続的発展・ 社会的包摂・ 環境共生	行政・市民・ビジネスの クロスセクター協働

何よりも、 **創造 自立 挑戦**

イニシアティブ クロスセクター運営体制（2012・07・03現在）

主催：東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター、東北大学災害復興新生研究機構
社団法人東北ニュービジネス協議会（仙台統括事務局）

仙台統括事務局への協力： 仙台市（協議中）、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター

地域共催：

【岩手・盛岡/釜石】 いわて未来づくり機構（協議中）、社団法人岩手経済同友会（協議中）
NPO法人いわて連携復興センター

【宮城・気仙沼】 気仙沼市、気仙沼商工会議所 ※別途、受皿機関設置予定
協力：気仙沼信用金庫、NPO法人ネットワークオレンジ他

【宮城・石巻】 石巻専修大学、石巻信用金庫
協力：石巻市、※今後近隣の市町村に呼掛け

【福島・福島(仮)】 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、立教大学大学院 21世紀社会
デザイン研究科、一般社団法人ふくしま連携復興センター

※当面はソーシャルを中心に活動、今後ビジネスセクター含め再編中

【東京リエゾン】 NPO法人アイ・エス・エル

特別協力： 公益社団法人経済同友会 東北未来創造イニシアティブ協働プロジェクトチーム

協力： 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会
公益社団法人日本青年会議所
一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク

活動計画

初年度	2年目	3～5年目
<ul style="list-style-type: none"> ・体制づくり ・社会起業家中心の支援 ・内閣府事業タイアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業出向者受入開始 ・道場本格展開 ・事業家/プロデューサ支援強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールモデル創出 ・6年目以降の自立型発展への土台固め

初年度				2年目
1Q	2Q	3Q	4Q	

クロスセクター協働体制づくり

社会起業家
新規事業
(30名)
コンペ(内閣府)

東北未来創造道場
(50名)
・個別メンタリング
・相互支援会

事業家
フェロー
(20名)
セレクト

経済同友会メンバー (メンター)

『東北未来創造 道場』(行動とメンタリング型)
⇒人づくり、街づくり、産業づくり
(起業家・事業家・地域プロデューサ 100名)

- ・個別メンタリング
- ・仙台(東北大学・片平キャンパス)集合
 - ↳復興と未来創造議論
 - ↳特定企業の有志によるティーチング
 - ↳事例発表とベンチマーキング
- ・街づくり、産業づくりラウンドテーブル

企業Uターン出向者 (道場運営/首長支援)